

学校関係者評価

6名の委員(卒業生)を委嘱し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策から委員個々から文章での評価とした。

【市立函館病院高等看護学院で学んだことで卒業後役に立ったこと】

- ・在学中より市立函館病院で働こうと考えていたので、入職前から病院について実際に聞いたり実習で見て経験して感じる機会が多かったのが良かった。
- ・関わる患者さんも複数の疾患が関連しあつての病態であったり、生活や個人の考えも病態に関係することも多く、実習記録などで実際に関連図を書いて学べたことが良かった。
- ・実習や国家試験に向けた勉強期間等は、メンタルの強化につながった。就職後も毎日大変だが、辞めずに頑張れている理由の一つだと思う。

【学院のカリキュラム(教育課程)に組み込まれていたら就職後に役に立つと思われること】

- ・実際に看護師として働いている人の話を聞けると、看護師の仕事やそれぞれの病院の雰囲気、自分が興味のある看護などイメージしやすいと思う。講義とは別にグループトークのような形で面と向かって話を聞いたり、質問できる機会があれば自分の将来を考えるきっかけになるのでは。
- ・実際に関わる患者さんの状況や自分が経験するであろう状況に近いほうが考えることも多く、事例検討などたくさん経験できれば現場に出たときに生かされることもあると思う。

【学院に望むこと(要望・学生のこと等)】

- ・学生のときはそれほど重要視していなかったが、働いてみて解剖生理の重要性を痛感しているため、解剖生理を頑張ってもらいたい。
- ・新人は知識や経験不足とは別に、言葉遣いや文章の書き方、言葉選びなどで苦戦している。学生時代から訓練できれば、入職後も困らないと思う。
- ・実習のスケジュール(いつからいつまで、いつはハーフ実習など)は指導側も把握しているつもりだが、事前の情報と違っていたり変更になっていたことがあった。もう少し学生のほうからも進んで情報発信をしてほしい。